

伊豆市議会議員 市政報告 小長谷順二 通信

Vol.20 2017.10



小長谷順二 後援会事務所
伊豆市土肥 450-7
TEL/FAX 0558-98-0400
http://konagayajunji.web.fc2.com/
Email photo-ko@yc5.so-net.ne.jp
facebook

小長谷順二 検索

平成 28 年度伊豆市一般会計歳入歳出決算認定について（賛成多数で可決）賛成討論を行いました。

平成 28 年度一般会計は、歳入 173 億 7,475 万円。歳出 163 億 329 万円となっており、繰越財源 1 億 4,019 万円を差し引くと実質収支額は 9 億 3,128 万円。前年度と比較した場合、歳入総額は 1 億 6148 万 4,000 円で 0.9%減。歳出総額は 1 億 7,629 万 3,000 円で 1.1%の増となりました。

市税や交付税が少しずつ減少して行く現状に於いて、必要な予算を確保するために徴収率の向上と、滞納額の削減に向けて強力な施策を検討・実施して頂きたい。そして人口減少対策や観光・産業の振興策、ふるさと納税の推進など、税収を上げる投資的な事業に力を注ぎ、次年度の予算に反映されるように願っています。また、公共施設の保有適正化などにも努め、市民が末長く安全・安心に暮らせるまちづくりを期待しています。

平成 29 年伊豆市一般会計補正予算（第 4 回）

歳入歳出予算に 4 億 9,030 万 6,000 円を追加し
歳入歳出総額 171 億 1,503 万 1,000 円とする。

- ・ ふじのくに地域少子化突破戦略事業 (373 万円)
- ・ 市内公的病院等補助金 (2 億 1,690 万円)
- ・ 障害児保育事業（加配補助） (453 万円)
- ・ 伊豆市伊豆の国市廃棄物処理組合負担金 (302 万円)
- ・ 美しい森づくり基盤整備交付金 (84 万円)
- ・ 伊豆市地域緊急森林整備事業 (1,250 万円)
- ・ 食肉加工センター廃棄物処理委託料 (239 万円)
- ・ 創業者支援事業補助金 (160 万円)
- ・ 市道横瀬大平線改良工事 (1,500 万円)
- ・ 平成 29 年 4 月豪雨災害復旧工事 (80 万円)

（一般会計補正予算は賛成多数で可決）

児童発達支援事業所の早期設置請願書 全会一致で採択

文教ガーデン構想のこども園（児童発達支援施設の併設）の建設が白紙になりました。

重度障がい児を持つ親の自主グループ「ひだまり」から、児童発達支援事業所の早期設置及び医療的ケア児の支援に関する請願書が提出され全会一致で採択されました。

〈請願項目〉

1. 地域の障がい児支援の拠点施設として障がいの種別に関わらず利用できる児童発達支援事業所の早期整備、また、看護師、臨床心理士、作業療法士の配置を要望します。
2. 障がい児家族の負担軽減や就労支援のため、未就学の医療ケア児を含めた日中一時支援の併設を要望します。
3. こども園・保育園における加配職員対応の継続、必要に応じ児童発達支援と併行通園を要望します。

土肥トワイライトキャンドル初開催

8 月 27 日（日）、土肥海水浴場で「第 1 回土肥トワイライトキャンドル」が開催され、多くの来場者でにぎわいました。18 時の開催の合図とともに参加者全員でビーチに置かれた 2,500 個のキャンドルに点火。薄暮のビーチを彩るロマンチックなキャンドルを写真に収めるなどイベントを楽しみました。

このイベントは TOizu BOX（まちづくりの会）が発案。

土肥地区の皆さんの協力を得て初開催されました。

バージョンアップしながら土肥の風物詩となるように、皆で応援したいですね。



Toi Twilight Candle

敬老感謝祭 各自治会で開催

敬老感謝祭 対象者の出席率が平成 25 年度には 21.5%まで低下しました。このため平成 26 年度から市主催の敬老感謝祭は開催せずに、自治会等の各地区において開催する事になってから今年で 4 回を迎えました。

平成 28 年度の敬老感謝祭の出席率は 37.7%。

役員の負担増や出席できない方への対応など、課題はありますが、参加者に話を伺うと「近所での開催は参加しやすく楽しい」との声がありました。課題の洗い出しを行い、楽しい敬老祭が開催される事を願います。



中浜・平野区合同開催

小長谷順二の一般質問 (第3回定例会 平成29年9月7日)

美しい伊豆創造センター、伊豆市産業振興協議会、伊豆市行政との連携による観光推進事業

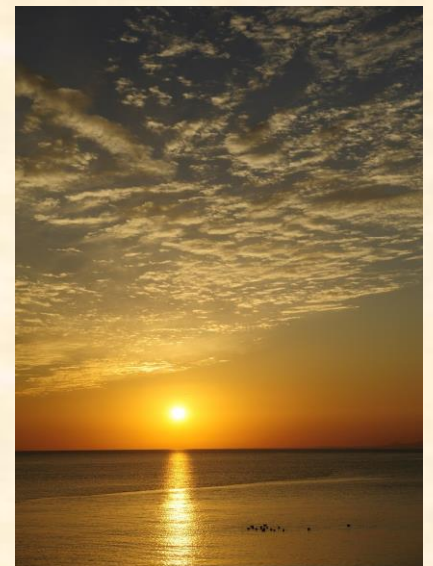
Q 2019年に開催される大型観光企画「静岡デスティネーションキャンペーン」、駿河湾の「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟承認などの観光推進連携事業について

A DMO推進の為に伊豆半島として「美しい創造センター」を、伊豆市として「産業振興協議会」を立ち上げ、伊豆市の観光振興課、観光協会、商工会をチームとして集約化し、静岡県のDNOとの連携を取りながら、より多くのお客様を伊豆市に呼び込む為の施策。

「静岡DCキャンペーン」については、宿泊に繋がるツアー商品の素材の掘り起しを行っています。

「世界で最も美しい湾クラブ」については、静岡県が推進体制の構築を進めているので、静岡県と連携を図りながら事業に取り組んでいきたいと考えています。

意見 7月に加盟記念事業として“船と自転車で駿河湾を満喫するモニターサイクリングツアー”が開催されました。今後は、駿河湾とジオパークを絡めた、クルージング、シーカヤック、サップなど海からの魅力を伝えるイベント等の提案を行っていききたい。



世界で最も美しい湾クラブ認定の「駿河湾 土肥の夕日」

戦略的なシティプロモーション

Q シティプロモーションとは『地域の魅力を内外に発信し、その地域へヒト・モノ・カネを呼び込み地域経済を活性化させる活動』と定義されています。

①情報発信の一元化 ②フィルムコミッションによる地域の魅力を発信 ③外国人観光客の受け入れ体制の強化について

A ① 4月末から伊豆市公式ポータルサイトとしてホームページのリニューアルを行い、職員によるSNSの積極的な参加も検討したい。
② ロケ支援を行っているフィルムコミッション伊豆からの照会で候補地を検討し、伊豆市内の施設や場所の提供を行っています。
③ 東京2020大会の開催に伴い、自転車競技が盛んな欧米諸国の来訪も視野に入れ「8か国語」の多言語マップの作成。また、さまざまなプロモーションに対応する動画の作成を検討しています。最終的に伊豆半島に5日から一週間程度の滞在できるような世界的なリゾート地となるように積極的なシティプロモーションを進めたい。

意見 東京2020大会の開催に向け、外国人観光客の大幅な増に伴い、情報発信の強化と伊豆ブランドを再構築し、伊豆半島の地形や交通事業などさまざまな諸問題に対して、美しい伊豆創造センターと連携を図り、伊豆のへそに位置する伊豆市がリーダーシップを発揮し、伊豆半島が世界的なリゾート地となるように、観光振興に取り組むたい。



3月27日 横浜中華街にアンテナショップ「美・伊豆」開設

第19回

小長谷順二 市政報告会開催
平成29年10月26日(木)PM7時～
伊豆市土肥支所 4F集会室

現土肥小学校の体育館は、社会・文化・体育施設として今まで通りの活用を...との声が多いですが、校舎など具体的な跡地活用については、まったく決まっていませんので、土肥地区住民のご意見を伺う為にアンケートを取る方向で総合戦略課と検討を行っています。より多くの皆様のお声を聞かせいただき、情報の共有を図りたいと思いますので、報告会に是非お出かけください。